

貯法：室温保存
有効期間：4年

健胃消化剤
日本薬局方

希塩酸

希塩酸「ケンエー」
Dilute Hydrochloric Acid「KENEI」

日本標準商品分類番号

872335

承認番号 16100AMZ01515

販売開始 1986年3月

2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）

アシドーシスのある患者 [症状を悪化させるおそれがある。]

3. 組成・性状

3.1 組成

| | |
|------|---|
| 有効成分 | 100 mL中 日局 塩酸 27.4g (塩化水素 (HCl) 9.5~10.5w/v%を含有。) |
|------|---|

3.2 製剤の性状

| | |
|----|--------------------------|
| 性状 | 本品は無色の液で、においはなく、強い酸味がある。 |
|----|--------------------------|

4. 効能又は効果

低・無酸症における消化異常症状の改善

6. 用法及び用量

通常成人1日量0.5~1.0mLを約200mLの水にうすめるか、
又はリモナーゼ剤として1~数回に分けて経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。

11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、
異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行
うこと。

11.2 その他の副作用

| | |
|-----|------------------|
| | 頻度不明 |
| 消化器 | 便秘 ^{注)} |

注)長期投与によりあらわれることがある。

14. 適用上の注意

14.1 薬剤投与時の注意

14.1.1 必ず希釈し、濃度に注意して使用すること。

14.1.2 投与に際しては、歯のホーロー質をいためることがある
ので、ストローなどを用いるか、投与後、炭酸水素ナトリウム
水で含嗽させること。

14.1.3 眼に入らないように注意すること。眼に入った場合には
直ちに水で洗い流し、専門医の処置を受けること。

18. 薬効薬理

18.1 作用機序

塩酸は生体組織に対して強い刺激、腐食作用を現すが、至適濃
度では、ペプシノーゲンを活性化してペプシンとし、タンパク
質消化機能をたかめる。防腐効果を有し、胃壁に刺激を与え、
十二指腸においてプロセクレチンを活性化し、間接的に膵液、
腸液の分泌を促進する¹⁾。

22. 包装

500mL (ポリエチレン瓶)

23. 主要文献

1) 第十八改正日本薬局方解説書、廣川書店、2021：C-1156-
1157

24. 文献請求先及び問い合わせ先

健栄製薬株式会社 学術情報部
〒541-0044 大阪市中央区伏見町2丁目5番8号
電話番号 (06) 6231-5822
FAX番号 (06) 6204-0750

26. 製造販売業者等

26.1 製造販売元



健栄製薬株式会社

大阪市中央区伏見町2丁目5番8号